

## 議会広報モニター会議で出された意見・感想（7/30）

開催日：令和5年7月30日（日） 13時30分～15時

会 場：駒ヶ根市役所議場他

グループ	A	B
モニター	赤羽明人さん、小林和教さん、中島澄子さん、滝澤常憲さん	倉田優孝さん、中村安満さん、佐藤芳久さん、池羽朋子さん
議 員	竹上陽子、小林敏夫、今堀雷三、小原晃一、池田幸代、中島和彦	松崎剛也、藤井邦彦、竹村誉、氣賀澤葉子、中山万宝、竹村知子

### 1. 議会だよりについて

- ・分かりやすくなった。
- ・行政施策施行後の具体的効果はどうであったのかのチェックが気になるので、分かりやすい説明が必要。
- ・とても読みやすくなった。横書きの方がさらに読みやすいと思う。
- ・絵や写真、見出しを工夫したら良いと思う。
- ・だいぶ読みやすくなった。一般質問では、市の答弁について議員としてどう判断したのかを書くスペースがあっても良いのでは。また、突然次の質問に移るので読みにくい。
- ・「議案と予算」との関係が議会だよりだけでは分かりづらい。
- ・事業などをするとき、税金がどのくらい使われているのか、分かりやすい解説が必要。
- ・議会だよりをしっかりと見るようになった。議会として何をしているのか分かるようになってきたので、議会広報モニターになることは、議会に関心を持ってもらうためのきっかけとなる。
- ・定例会はCEK、YouTubeで見ている。議会だよりは、以前と比べるとだいぶ読みやすくなった。
- ・自分に感心のある「子育て」などはまず見るが、財政などは頭に入らないので、何回も読む。
- ・「こんな元気な活動しています！」コーナーがあると良いのでは。
- ・議会だよりの文章の中でさえ、この回答かと残念に感じる。

### 2. 議会活動について

- ・駒ヶ根 36 景など、自然の素晴らしさを市民に知らせ、ガイドの養成などに取り組んでいることをアピールする工夫を。
- ・議場を見学したが、階段が多く足腰が丈夫で健康でなければと感じた。
- ・コロナ禍にあって、まちを良くするためどこへ予算を投じるか、提案型に。
- ・地元の声をもっと聞いて、市政や議会だよりに反映させてほしい。
- ・市民にアンケートをするなどして、議会に関心をもってもらうアクションを起こしては。
- ・傍聴席で聞いている。議員の質問に対して、あまりにもずれた回答があり冷淡でもある。時には憤りさえ感じる。

- ・飯田市役所では、庁舎内のさまざまな場所で議場の様子がライブで流れていた。駒ヶ根市でもできるのでは。

### 3. 市政について

- ・もう少し地域に入ってほしい。
- ・市長と語る会は決まった人だけで人数が少ない。
- ・交差点への信号設置の要望を出している。
- ・旧赤穂公民館を壊した後の計画は。
- ・財政面の改善している内容を市民に分かるようにしてほしい。「何もしていない」と思われてしまう。
- ・コンパクトシティの素養はある。
- ・景観の美しさだけに頼っている。
- ・自然は素晴らしいが、不登校や自死が多いことはどうしてか。
- ・子育て世帯へのアンケートをとったらどうか。
- ・市報の市長のコメントをよく読んでいて、親近感を感じる。
- ・東京からUターンした。ここに住むと東京へ戻りたくなる。もっと移住者が増えるとよい。
- ・若者にどんなまちにしたいのか、まちづくりに参画できる工夫をしていく。
- ・伊藤市長になって、借金は減ったが、中堅職員の退職が気になる。
- ・保健師や中堅職員が何人も辞めている。市長が各部署を回っていないと聞いたことがある。32,000人の駒ヶ根市の人口の行政規模に見合う市政運営をしてもらいたい。
- ・「子育て全力応援」とはいうものの、小学校に行けない子どもたちの居場所がない。